

2018年8月27日

株式会社朝日新聞社
広報部長 後田 竜衛 様

朝日新聞英語版の「慰安婦」印象操作中止を求める有志の会
ケント ギルバート
山岡 鉄秀

メタタグ問題に関する追加のご質問

冠省

先般8月22日付でご質問状を送付させて頂き、8月31日までの回答をお願いしてありましたが、メタタグ問題については産経新聞社さんと夕刊フジさんの方へすでにご回答されたことを確認いたしました。

御社は全ての記事をテスト環境にアップして確認した後、検索エンジンを避けるメタタグを削除するプロセスを慣行としているところ、問題となった、「吉田清治証言の虚偽認定」と「慰安婦と女子挺身隊を混同」のふたつの記事に関しては何らかの手違いでメタタグを削除し忘れていたというご説明でした。

そこで、追加質問をさせていただきますので、8月31日までに合わせてご回答頂けますようお願い申し上げます。

1. これらの記事が日本語環境で作成されている理由は何でしょうか？言語とコンテンツが日本語指定されていれば、検索エンジンの忌避を止めても、国外の読者がアプローチすることが困難です。なぜ英語サイトに移さないのかご説明ください。
2. 検索エンジン忌避のメタタグ以外にも、リコメンドエンジンを除外するタグも打ち込まれていることが判ります。<meta name="outbrain-crawl" content="exclude" />これでは関連記事に推奨されないことを意味します。なぜテスト環境でこのようなタグが必要なのでしょう？これも消し忘れでしょうか？
3. 上記二本の記事のみ、テスト後に検索エンジン忌避のメタタグを削除し忘れたとのことですが、なぜ継続更新中の訂正とお詫びにまで同じメタタグを入力する必要があるのでしょうか？朝日新聞デジタルには「訂正・お詫び」のサイトが存在し、一週間単位で日々の訂正箇所を通知しています。

(http://www.asahi.com/news/corrections/?iref=pc_rellink)

例：

① 保護されていない通信 | www.asahi.com/news/corrections/?iref=pc_rellink

朝日新聞 DIGITAL

検索 目次

↑ トップニュース スポーツ カルチャー 特集・連載 オピニオン

新着 天声人語 社会 政治 経済・マネー 国際 テック&サイエンス 環境・エネルギー 地域

ツイート シェア 0 G+ B! 19 m メール

ニュース > 訂正・おわび

訂正・おわび

- > 2018年8月24日 (8/24)
- > 2018年8月23日 (8/23)
- > 2018年8月22日 (8/22)
- > 2018年8月21日 (8/21)
- > 2018年8月20日 (8/20)
- > 2018年8月19日 (8/19)

8月24日の訂正を見てみます。

朝日新聞 DIGITAL

検索

↑ トップニュース スポーツ カルチャー 特集・連載

新着 天声人語 社会 政治 経済・マネー 国際 テック&サイエンス 現

朝日新聞デジタル > 記事

訂正：2018年8月24日

2018年8月24日19時54分

シェア 0 ツイート list ブックマーク 0 メール 印刷

訂正しておわびします。

訂正：古い科学映画、配信1000本超

この訂正通知ページのソースを見ると、やはり<meta name="outbrain-crawl" content="exclude" />が打ち込まれているのがわかります。(L48) 注) 確認は8月24日

```
← → ↻ ⓘ view-source:https://www.asahi.com/articles/ASL8S6K1BL8SUEHF00V
23 <meta property="fb:app_id" content="137119773101625" />
24 <meta property="og:locale" content="ja_JP" />
25 <meta property="og:title" content="訂正：2018年8月24日：朝日新聞デジタル" />
26 <meta property="og:url" content="https://www.asahi.com/articles/ASL8S6K1BL8SUEHF00V.htm" />
27 <!--引用可能写真無し-->
28 <meta property="og:image" content="https://www.asahicon.jp/images/logo_ogp.png" />
29 <meta property="og:image:height" content="630" />
30 <meta property="og:image:width" content="1200" />
31 <meta property="og:site_name" content="朝日新聞デジタル" />
32 <meta property="og:type" content="article" />
33 <meta property="og:description" content="訂正しておわびします。■訂正：古い科学映画、
<写真説明で、「特急『つばめ』を引く蒸気機関..." />
34 <meta property="article:author" content="https://www.facebook.com/asahi.com/" />
35 <meta property="article:publisher" content="https://www.facebook.com/asahicon/" />
36 <!--twitter:引用可能写真無し-->
37 <meta name="twitter:card" content="summary" />
38 <meta name="twitter:site" content="@asahi" />
39 <meta name="twitter:title" content="訂正：2018年8月24日：朝日新聞デジタル" />
40 <meta name="twitter:description" content="訂正しておわびします。■訂正：古い科学映画、
<写真説明で、「特急『つばめ』を引く蒸気機関..." />
41 <meta name="twitter:image" content="https://www.asahicon.jp/images/logo_600_600.png" />
42 <meta name="twitter:url" content="https://www.asahi.com/articles/ASL8S6K1BL8SUEHF00V.htm" />
43 <!--//social-->
44 <link rel="shortcut icon" type="image/x-icon" href="/favicon.ico" />
45 <link rel="apple-touch-icon" href="/logo_icon.png" />
46 <meta name="msapplication-TileImage" content="/logo_icon.png" />
47 <meta name="msapplication-TileColor" content="#890000" />
48 <meta name="robots" content="noindex, nofollow, noarchive"></meta>
49 <link rel="stylesheet" type="text/css" href="//www.asahicon.jp/css/asahi-common2014.utf8" />
50 <script type="text/javascript" src="//www.asahicon.jp/js/asahi-common2014.utf8.js" charset="utf-8"></script>
51 <link rel="alternate" type="application/rss+xml" title="朝日新聞デジタル速報全ジャンル" />
52 <link rel="alternate" type="application/rss+xml" title="朝日新聞デジタル速報社会ジャンル" />
53 <link rel="alternate" type="application/rss+xml" title="朝日新聞デジタル速報政治ジャンル" />
```

調べてみると、この日以外もすべての日付の訂正ページが、たとえ訂正が無い日であっても、同様のメタタグを有していることがわかります。これらのページは毎日更新されていますが、最新のページも常に同じメタタグを有しています。これらが「消し忘れ」であるとは考えにくく、訂正ページには「検索エンジンを避けるメタタグを挿入する」のが御社の基本ポリシーであると考えるのが自然だと思いますが、いかがでしょうか？

以上から、今回の「メタタグ問題」が、単なる公開前の消し忘れであったという御社の説明には十分な説得力がありませんので、改めて上記の疑問へのご回答を頂けると幸いです。他にも一般国民から多くの指摘がなされていますが、今回はここまでしておきます。

ところで、技術的な質問を致しましたが、問題の本質は御社が大手新聞社としての社会的責任を果たしているか否か、です。

今回の「検索回避メタタグ」の挿入が、恣意的なものであれ、御社が主張するように偶発的なものであれ、極めて重要な記事を 4 年間に亘って検索不能な状況に放置した事実は変わりません。

申し上げるまでもなく、慰安婦問題に関する日本政府の公式見解は、「吉田清治という人物が一般女性を強制連行して慰安婦にしたという作り話を朝日新聞がキャンペーンで拡散したものであって、慰安婦が性奴隷であったという表現は適切ではない」というものです。

御社の歴史認識や主義主張が何であれ、御社が誤報を公式に認めて記事を撤回し、社長辞任の理由のひとつになったことは紛れもない事実です。責任ある報道機関であれば、誤報を長期間にわたって放置した責任を重く受け止め、記事撤回の事実を広く拡散する努力を尽くすのが当然の責務です。結果として御社がやったことはその真逆です。検索回避が組織的な行為であれば論外ですが、仮に偶発的なミスであったとしても、御社の責任が軽減されることはありません。これは御社が毎日発表している「書き間違い」の類ではなく、御社が新聞社として社会的責任を取らずに誤報を長期間放置していたことを意味する背信行為であり、企業としては重大なコンプライアンス上の問題です。報道機関としての最低限の自覚が問われています。これは主義主張の問題ではありません。

現状に鑑みれば、なぜそのような事態が発生したのか、責任者は誰なのかを明らかにし、再発防止策を示したうえで公式に謝罪するのが社会通念上の常識ではないでしょうか？繰り返しますが、理由は何であれ、御社は誤報と認めて撤回する趣旨の記事を指摘されるまで 4 年間に亘って検索できないようにしていたのです。さらに、「関連記事としておすすめ」もされないようにしています。撤回と謝罪は日本国内向けのジェスチャーに過ぎなかったと理解されても致し方ありません。**今後どのようなアクションを取る予定かお知らせ下さい。「間違えました、削除しました」で済む問題ではございません。**

8 月 31 日までの回答をお願いしてありますが、産経新聞や夕刊フジに送られた回答をこちらに送って頂いても全く納得できるものではありませんので、このように追加の質問をさせて頂いております。非常に多くの国民が本件に注目しております。社会的責任を負う報道機関として真摯な回答を重ねてお願い申し上げます。

早々